

第37回

日本伝統 漆芸展

JAPAN TRADITIONAL *Urushi* Works EXHIBITION 2020



文部科学大臣賞
松本達弥《彫漆幾何学文八角盆》

2020年 3月14日 **土** — 3月29日 **日**

会 場 高松市美術館 1階【常設展示室1】

開展式 2020年3月14日(土) 10:00～
高松市美術館 1階常設展示室前にて

観 覧 料 一般 200円 (160円) 大学生 150円 (120円) ※()内は20名以上の団体料金 ※常設展示室2もご覧になれます
65歳以上、高校生以下、障害者手帳等所持者は無料

開館時間 9:30～17:00 / 入室は閉館30分前 ※但し特別展開催期間(～3/22)の火～土・祝日は19:00まで

休 館 日 月曜日

主 催 = 高松市美術館 公益社団法人日本工芸会

後 援 = 文化庁 香川県 香川県教育委員会 朝日新聞社 公益財団法人岡田茂吉美術文化財団
四国新聞社 NHK 高松放送局 KSB 瀬戸内海放送 OHK 岡山放送 RNC 西日本放送
RSK 山陽放送 TSC テレビせとうち

T A M 高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

第37回 日本伝統漆芸展

JAPAN TRADITIONAL Urushi Works EXHIBITION 2020



根本 曠子

奨励賞 高松市美術館賞 《乾漆切絵盆 花筵(はなむしろ)》

日本を代表する工芸として、永い歴史をもつ漆芸。日本伝統漆芸展は日本伝統工芸展の漆芸部会展として、伝統の継承とその錬磨、現代への応用を目指して開かれています。

第37回となる今回は、東京・輪島・高松・広島との4会場を巡回し、受賞作7点を含む入選作品全89点を展示いたします。

重鎮から新進まで漆芸への飽くなき挑戦がうかがわれる本展示会は、後継者育成に大きな貢献を果たしています。各地の伝統が育んだ地域性をも展覧することができるまたとない機会です。磨き抜かれた技と美への探究を、どうぞ心ゆくまで鑑賞ください。

本展が見せる磨き抜かれた技と美への探究とともに、常設展示室2で開催している高松市美術館のコレクションによる「蒔醬 太田 儔氏を偲んで」も併せて鑑賞いただき、漆芸の魅力をお楽しみください。

列品解説

会期中、展示室内において下記出品者による展示作品の解説を行います。※要観覧券

3月14日(土) 13:00から 大谷 早人氏 (鑑査及び審査委員/理事)

3月22日(日) 13:00から 石原 雅員氏 (漆芸作家)



山下 義人

重要無形文化財保持者 《蓮池蒔醬四方盆》



大谷 早人

《籃胎蒔醬八角盛器 連》



北岡 省三

《堆漆四ツ葉文香合》



石原 雅員

《堆漆蝦夷鹿香合》



寺西 松太

朝日新聞社賞 《蒔繪名刺箱 魚影》



大角 裕二

奨励賞 石川県輪島漆芸美術館賞 《蒔繪六角箱 陽春》



第4期常設展

蒔醬 太田 儔氏を偲んで

Kinma - memory of OTA Hitoshi

同時開催/常設展示室 2

漆芸家、太田儔(1931-2019)は、昭和28(1953)年より、磯井如真に師事し、漆芸の道へと進みました。太田の偉業として先ず挙げられるのは、明治末期に途絶えてしまった技法「籃胎蒔醬」を現代に蘇らせたことでしょう。伝統を受け継ぐとともに新たな領域を開拓した太田は、平成6(1994)年に重要無形文化財「蒔醬」保持者に認定されました。このたびの展示では、昨年11月に惜しまれながら逝去した太田を偲び、当館が所蔵する作品全19点を展示し、作家活動を振り返ります。

[交通情報]

- ◎JR四国：JR高松駅下車、南へ徒歩約15分
- ◎ことでん：瓦町駅・片原町駅下車、徒歩約10分
- ◎バス：(ショッピング・レインボー循環バス) 紺屋町バス停下車、徒歩約2分
(まちバス) 丸亀町参番街下車、徒歩約3分 / (高速バス) 県庁通り下車、徒歩約8分
- ◎駐車場：美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)

高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM
〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 TEL:087-823-1711